



ご存知
ですか？



薬剤師③ 薬品管理室

病院で働く薬剤師というと、調剤室で患者様の薬を調剤している姿をイメージされることと思いますが、その他にも病院内でたくさんの仕事をしています。今回は地下1階にあり、3名の薬剤師で業務を行っている「薬品管理室」の仕事内容、その中でも特に重要な注射調剤と医薬品の購入について紹介いたします。

一日の仕事の流れ

午前

午前中は、地下の他の薬剤師と共に9名で入院患者様に使用される注射薬を1患者様ごとにセットしています。飲み薬の調剤と同じように、処方監査(各患者様に適した量であるか、同じ効果の薬が重なっていないか、混ぜると効果が落ちる薬は入っていないかなどをチェックします)、調剤、総合監査と進めて、患者様のもとに安全な注射薬をお届けしています。



●注射薬は患者様ごとにカゴに入れて分けし、1日分ずつ病棟に運ばれます。



●薬品庫の中には約1500種類の薬品を在庫しています。

午後

午後の主になる仕事は、医薬品の購入です。患者様に処方される薬(内服薬、外用薬、注射薬)や、院内で使用される消毒剤などの医薬品全てを適正な量で発注します。納品された薬品は、薬品卸売業者と、品質、有効期限等を1品ずつ確認して受け渡しを行います。次に毒薬、劇薬、冷所に保存する薬などそれぞれに適した場所に保管します。そのため地下には大きな金庫や冷蔵室があります。

また医師から当院に採用されていない薬(新薬など)を使いたいと依頼があった時は、薬事委員会(院内の薬を安全に、又適正に使用することを目的とする委員会)に諮り、すみやかに患者様に提供できるようにします。



●事務部門の物流管理係と一緒に、薬品卸売業者と1品ずつ薬品の受け渡しを行います。



【入院患者様へ】

お薬の説明に薬剤師がうかがったときは、内服薬のことだけでなく、注射薬についても、遠慮なくご質問、ご相談ください。

(薬剤部 薬品管理室 佃 ひとみ)